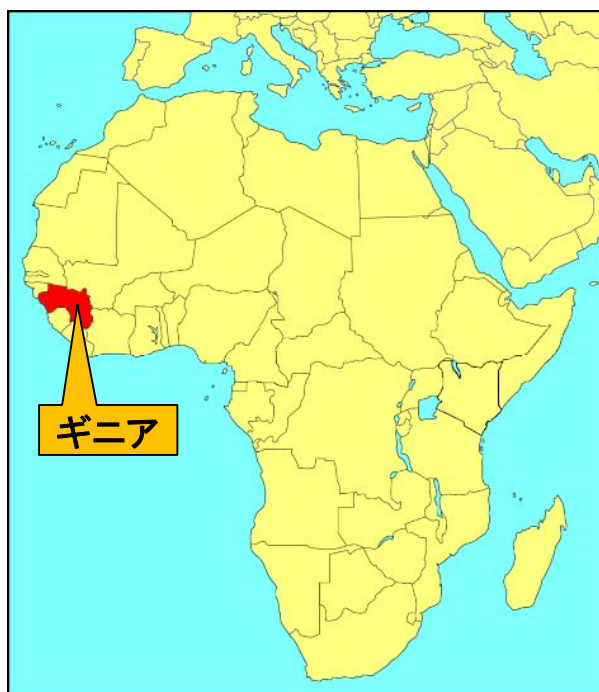


ギニアで黄熱が発生

2010年1月12日 ProMED 情報
(WHO Global Alert and Response (GAR))



本年1月4日、ギニア保健省(MoH)は、黄熱患者1名の発生をWHOに報告しました。患者は、コートジボワールとの国境近くの同国東部のカンカン Kankan 地域 Mandiana 県 Faralako 郡 Malikila 村の35才の女性です。昨年11月23日に発熱、黄疸で発症しました。この患者はコートジボワールでの黄熱発生に際しての国境を越えた調査で発見されました。

ギニア保健省による調査により、さらに6名の疑い患者が Faralako 郡 Mandiana-Centre 郡及び Saladou 郡で見つかっており、これらの疑い患者について現在検査が行われています。

この黄熱患者の発生により、ギニア保健省は Mandiana 県の全ての住民に対して予防接種を実施することを決定しました。12郡の合計290,292名が緊急集団予防接種の対象となっています。

ギニアは、2007年黄熱感染予防のための集団的ワクチン接種が実施されたアフリカ諸国の中でも、最も感染危険性の高い黄熱常在国の一つです。

Mandiana 県は、同国における黄熱ハイリスク県25の中の一つです。しかしながら、ワクチン供給不足により国全体の接種活動は実施されていません。

現在では、2010年の実施が予定されています。